

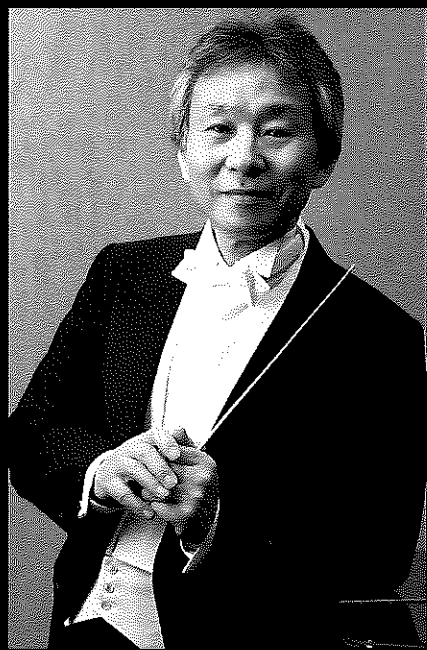
札幌交響楽団

第28回釧路定期演奏会

初冬釧路に舞い降りる!

釧路出身 鶴田麻記のトランペット・ソロにもご期待ください!!

〔指揮〕 梅田 俊明
Toshiaki Umeda (Conductor)



©K.Miura

東京に生まれる。5歳よりピアノを始め、井上直幸、新井精氏等に学ぶ。1984年桐朋学園大学音楽学部を卒業。86年同研究科を修了。指揮を小澤征爾、秋山和慶、尾高忠明、コントラバスを小野崎充、ピアノと室内楽を三善晃の各氏に師事する。83、84年には来日中のジャン・フルネ氏にも学んだ。86年よりウィーン国立音楽大学指揮科に留学、オトマール・スイトナー氏に師事し、研鑽を積んだ。帰国後、89年12月より92年4月まで日本センチュリー交響楽団指揮者を務めた。90年4月より仙台フィルハーモニー管弦楽団指揮者に就任。92年4月より96年3月まで神奈川フィルハーモニー管弦楽団の指揮者の任も果たした。2000年4月より仙台フィルハーモニー管弦楽団の常任指揮者に就任。オーケストラの発展に情熱を注ぎ込み、2006年3月までその任を務めた。客演としては、NHK交響楽団、読売日本交響楽団、東京都交響楽団、東京交響楽団、新日本フィルハーモニーを始め、国内主要オーケストラと長年にわたり共演を重ねている。2001年第1回、及び2004年第2回仙台国際コンクール(いずれもヴァイオリン、ピアノの2部門で開催)では、全ての協奏曲を指揮し、出場者、聴衆、国内外の審査員から絶賛を博した。06年には大ブームとなったドラマ「のだめカンタービレ」に、演奏及び指揮指導で参加し注目を集めた他、レコーディングにも参加。国内だけではなく、96年1月には南西ドイツ・フィルハーモニーとスロヴァキア・フィルハーモニーの定期演奏会に出演、いずれも好評を博した。的確な棒さばきと音楽に対する誠実な姿勢でオーケストラからの信頼も厚い。また桐朋学園大学、東京藝術大学非常勤講師として後進の指導にもあたっている。

〔トランペット〕 鶴田 麻記
Maki Tsuruta (Trumpet)

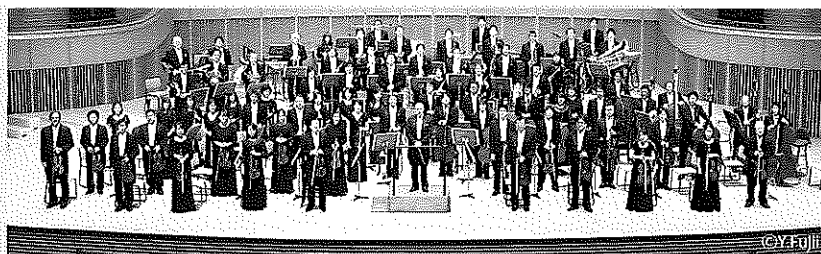


©M.SATO

北海道釧路出身。11歳でトランペットを始め、北海道釧路北陽高校から東京藝術大学器楽科に現役で合格し、2017年卒業。在学中に安宅賞、同声会新人賞、アカンサス賞を受賞。第20回コンセール・マロニエ21第3位、第84回日本音楽コンクール第2位、プラハの春国際コンクール2016ではファイナルへ進出、奨励賞を受賞(日本の金管奏者として過去最高成績)。第33回日本管打楽器コンクール第2位。2017年チェジュ国際管楽器コンクール第3位。平成28年度青山財団奨学生。これまでにトランペットを元札幌首席奏者の松田次史、栃本浩規、佐藤友紀、古田俊博、菊本和昭の各氏に師事。

2018年3月、6か月間の試用期間を経て、札幌交響楽団に正入団、副首席トランペット奏者を務める。北海道唯一のプロ・オーケストラの一員として、演奏会のみならず、小編成で学校訪問や、吹奏楽の指導などアウトリーチに積極的に取り組む。さらに、2018年秋には演奏活動と並行して挑戦した第16回東京音楽コンクール金管部門で第3位、第87回日本音楽コンクールトランペット部門第2位入賞を果たす。次代を担う楽団員のひとりとして、注目の存在。

〔管弦楽〕 札幌交響楽団
Sapporo Symphony Orchestra



©Y.FUJII